

家計調査

鳥取市の[家計収支編]の結果概要について

平成30年（2018年）平均

（平成30年（2018年）1月～12月）

令和元年（2019年）6月

鳥取県地域振興部統計課

総務省統計局より「家計調査報告[家計収支編]（平成30年（2018年）平均速報結果の概況）」が公表され、鳥取市分がまとまりましたのでお知らせします。

I 調査の概要

1 調査の目的

家計調査は、家計の収支を家計簿に記入してもらうことによって、国民生活における家計収支の実態を毎月明らかにすることを目的としています。また、経済施策や社会施策立案のための基礎資料を得るために行う調査で、全国の約9,000世帯に調査をお願いしています。

この調査では、学生の単身世帯等を除いた世帯を対象として行われており、統計的な方法によって一部の地域を選定し、全体を推計する方法（標本調査）を利用しています。具体的には全国から168市町村を選び、選ばれた市町村内をさらに細かく分割し、調査地区を選び、その調査地区から無作為に調査世帯を選びます。この3段階の抽出は世帯が均等に選ばれるよう工夫されており、全国の縮図が出来上がるようになっています。

2 鳥取県の家計調査の実施状況

県内では、2市の117世帯の皆さまに毎月の家計調査に御協力いただいています。なお、次ページ「II 結果の概要」では鳥取市の二人以上の世帯の結果についてまとめております。

対象市	二人以上の世帯	単身世帯	合計
鳥取市（県庁所在市）	96世帯	8世帯	104世帯
境港市	12世帯	1世帯	13世帯
合計	108世帯	9世帯	117世帯

※境港市は、都市階級（人口5万以上の市（大都市、中都市、小都市A）、人口5万未満の市及び町村（小都市B・町村））のうちの小都市B・町村に選定され集計されています。

3 調査世帯区分

二人以上の世帯	勤労者世帯
	無職世帯
単身世帯	勤労者・無職以外の世帯

【勤労者世帯】

世帯主が会社、官公庁、学校、工場、商店などに勤めている世帯をいう。
 なお、世帯主が社長、取締役、理事など会社（有限等）・団体の役員など、いわゆる使用者の立場にある世帯は「勤労者・無職以外の世帯」に含める。

【無職世帯】

世帯主が無職である世帯をいう。例えば、年金、恩給、仕送り金、保険取金、財産収入等により家計を営んでいる世帯をいう。

【勤労者・無職以外の世帯】

勤労者世帯及び無職世帯以外の世帯、例えば、世帯主が自営業者、個人経営者、使用者側の立場にある世帯をいう。

Ⅱ 結果の概要

1-1 二人以上の世帯の家計消費

二人以上の世帯の「消費支出」は、1世帯当たり1か月平均266,955円で、前年に比べ9,422円増加(+3.7%)した。

消費支出を10大費目別にみると、前年に比べ「住居」(-22.8%)、「交通・通信」(-21.2%)が減少した一方、「教育」(+51.3%)、「その他の消費支出」(+22.2%)、「家具・家事用品」(+16.6%)、「光熱・水道」(+12.3%)、「教養娯楽」(+10.2%)などが増加した。

全国順位をみると、家庭用耐久財などを含む「家具・家事用品」が37位から12位、電気代などを含む「光熱・水道」が39位から20位に大きく上昇した。

表1 費目別消費支出（二人以上の世帯）

(単位:円)

項目	鳥取市						全国
	平成30年	順位 (位)	平成29年	順位 (位)	対前年 差引	対前年 増減率 (%)	平成30年
世帯人員(人)	3.30		3.08		0.22	7.1	2.98
65歳以上人員(人)	0.79		0.82		-0.03	-3.7	0.83
有業人員(人)	1.54		1.41		0.13	9.2	1.35
世帯主の年齢(歳)	57.9		58.7		-0.8	-1.4	59.3
消費支出	266,955	39	257,533	41	9,422	3.7	287,315
食料	71,015	30	68,355	36	2,660	3.9	73,977
住居	14,672	35	18,994	16	-4,322	-22.8	16,915
光熱・水道	22,577	20	20,109	39	2,468	12.3	22,019
家具・家事用品	11,070	12	9,492	37	1,578	16.6	10,839
被服及び履物	9,470	38	8,627	43	843	9.8	10,791
保健医療	10,699	43	10,385	44	314	3.0	13,227
交通・通信	36,332	38	46,107	12	-9,775	-21.2	42,107
教育	8,218	35	5,433	46	2,785	51.3	11,785
教養娯楽	24,500	36	22,228	43	2,272	10.2	27,581
その他の消費支出	58,403	26	47,802	44	10,601	22.2	58,074
エンゲル係数(%)	26.6	10	26.5	12	0.1	0.4	25.7

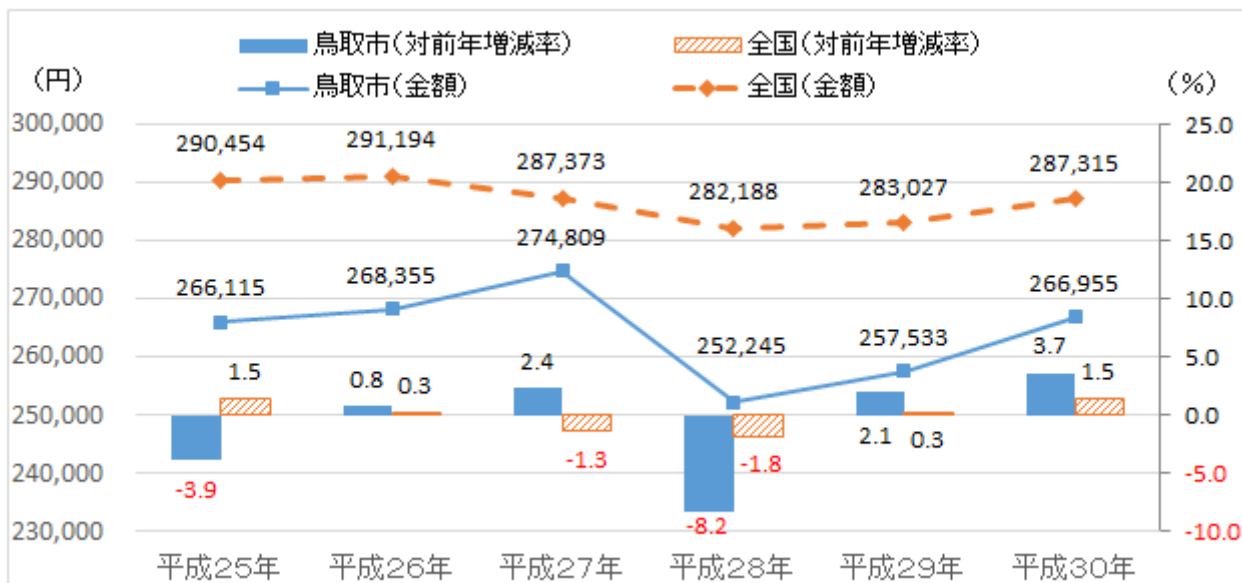
注1 その他の消費支出とは、理美容関係、たばこ、交際費など。

注2 エンゲル係数とは、消費支出に占める食料費の割合。

注3 順位は、47都道府県庁所在市から算出。

鳥取市の消費支出（年平均）の推移をみると、金額では全国を下回っているが、対前年増減率では平成29年から全国を上回る伸びを示している。

図1 鳥取市及び全国の消費支出（年平均）における推移（二人以上の世帯）



1-2 二人以上の世帯の支出割合

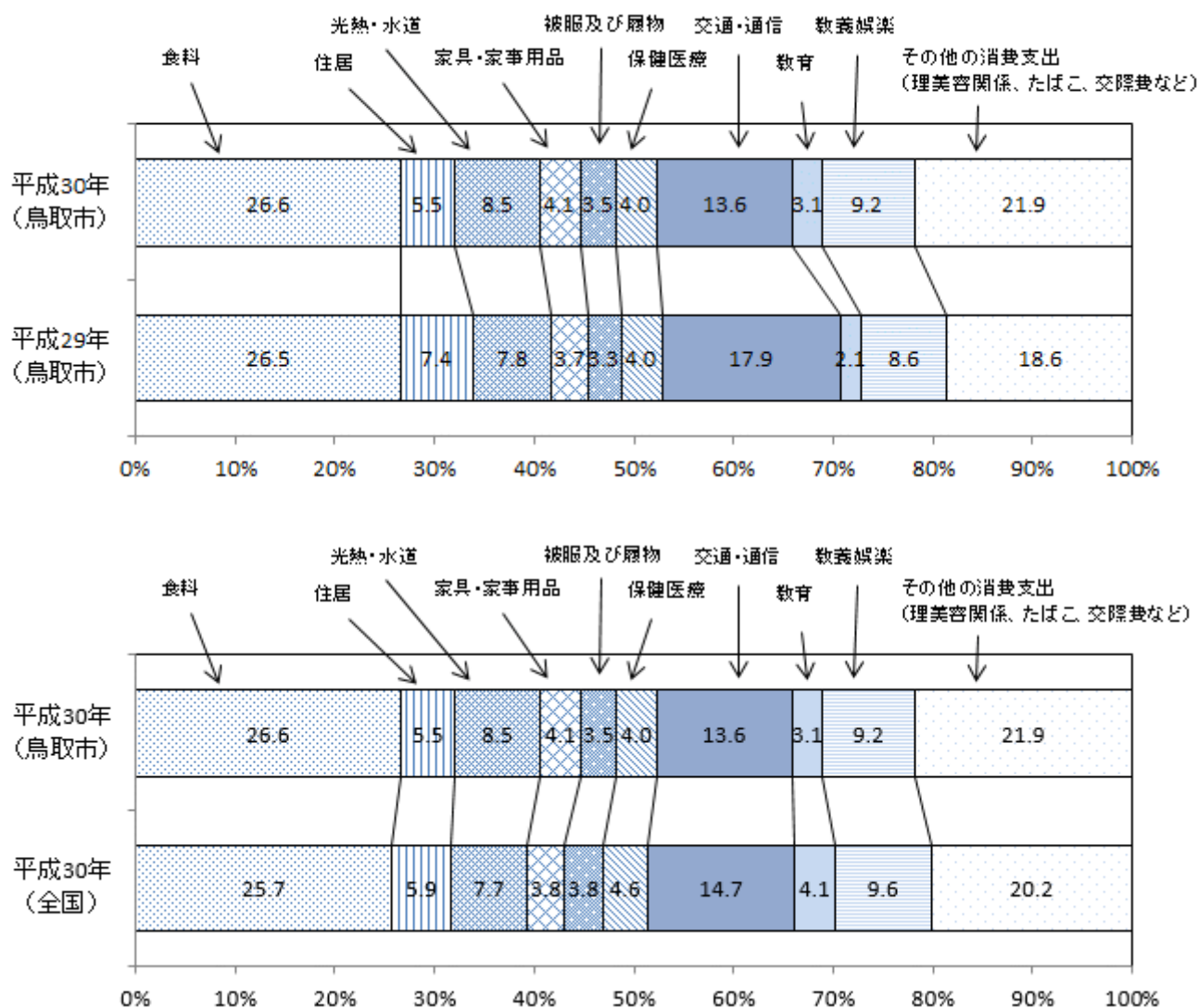
費目別消費支出割合は、前年に比べ「その他の消費支出（理美容関係、たばこ、交際費など）」が3.3ポイント増加し、「交通・通信」が4.3ポイント減少した。

全国に比べ「その他の消費支出」が1.0ポイント高く、「教育」が0.8ポイント低かった。

鳥取市の費目別消費支出の割合をみると、前年に比べ「その他の消費支出」（+3.3ポイント）、「教育」（+1.0ポイント）、「光熱・水道」（+0.7ポイント）、「教養娯楽」（+0.6ポイント）などが増加した一方、「交通・通信」（-4.3ポイント）、「住居」（-1.9ポイント）が減少した。

全国に比べ「その他の消費支出」（+1.7ポイント）、「食料」（+0.9ポイント）、「光熱・水道」（+0.8ポイント）などが高かった一方、「交通・通信」（-1.1ポイント）、「教育」（-1.0ポイント）、「保健医療」（-0.6ポイント）などが低かった。

図2 鳥取市及び全国の費目別消費支出の割合（二人以上の世帯）



1-3 二人以上の世帯のうち勤労者世帯の家計収支

勤労者世帯の「実収入」は、1世帯当たり1か月平均542,066円で、前年に比べ63,784円増加(+13.3%)した。

「可処分所得」は1世帯当たり1か月平均446,916円で、前年に比べ55,066円増加(+14.1%)した。

「黒字」は1世帯当たり1か月平均165,794円で、前年に比べ47,543円増加(+40.2%)した。

「実収入」の内訳をみると、前年に比べ、「世帯主収入」(-1.3%)が減少した一方、「その他の収入」(+75.1%)、「世帯主の配偶者の収入」(+47.9%)などが増加した。

「その他の収入」、「世帯主の配偶者の収入」などが増加したことに伴い、「黒字」は前年に比べ47,543円増加(+40.2%)した。

全国順位をみると、「その他の収入」が35位から5位、「黒字」が29位から9位、「世帯主の配偶者の収入」が15位から2位に大きく上昇した。

表2 家計収支と内訳 (二人以上の世帯のうち勤労者世帯)

項目	(単位:円)						全 国 平成30年
	鳥 取 市				対前年 差引	対前年 増減率 (%)	
	平成30年	順位 (位)	平成29年	順位 (位)			
世帯人員(人)	3.56		3.35		0.21	6.3	3.32
65歳以上人員(人)	0.33		0.26		0.07	26.9	0.28
有業人員(人)	1.92		1.86		0.06	3.2	1.78
世帯主の年齢(歳)	49.1		49.8		-0.7	-1.4	49.6
実収入	542,066	31	478,282	37	63,784	13.3	558,718
勤め先収入	483,319	35	444,726	37	38,593	8.7	512,604
世帯主収入	337,864	46	342,245	43	-4,381	-1.3	426,035
世帯主の配偶者の収入	125,507	2	84,864	15	40,643	47.9	72,948
他の世帯員収入	19,948	7	17,617	7	2,331	13.2	13,621
その他の収入	58,747	5	33,556	35	25,191	75.1	46,114
消費支出	281,122	44	273,599	43	7,523	2.7	315,314
非消費支出	95,150	33	86,433	35	8,717	10.1	103,593
可処分所得	446,916	30	391,850	38	55,066	14.1	455,125
黒字	165,794	9	118,251	29	47,543	40.2	139,811
エンゲル係数(%)	26.0	4	25.1	9	0.9	3.6	24.1

注1 非消費支出とは、所得税、住民税、社会保険料など。

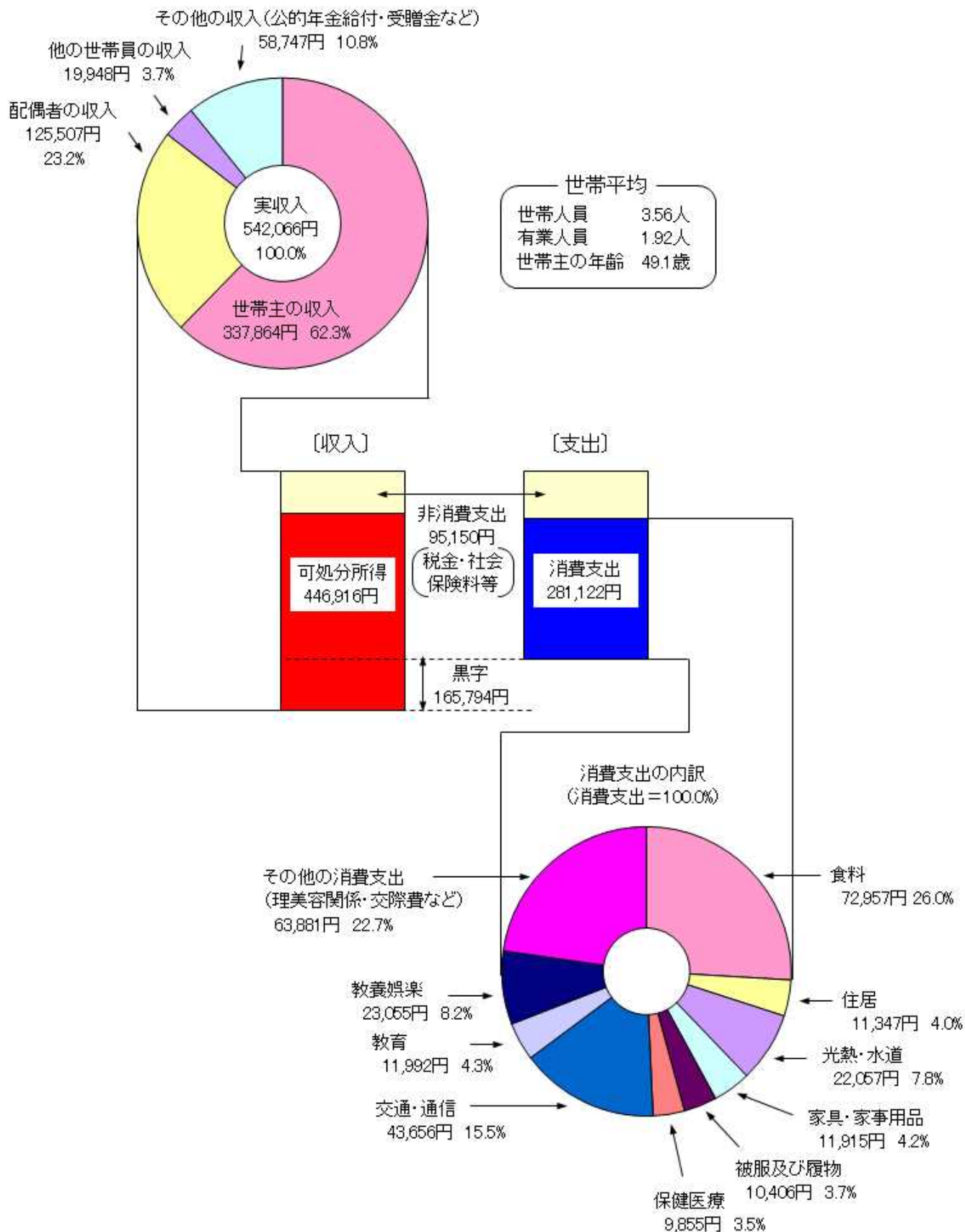
注2 可処分所得とは、実収入から非消費支出を差し引いた額で、いわゆる手取り収入。

注3 黒字とは、可処分所得から消費支出を差し引いた額。

注4 順位は、47都道府県庁所在市から算出。

(参考図) 鳥取市の平成30年平均1世帯当たり1か月間の収入と支出

(二人以上の世帯のうち勤労者世帯)



※ ここでいう1世帯当たり1か月間の収入とは、ボーナス等も含めた年間の収入を12か月で割った1か月当たりの平均値です。

(参考表) 鳥取市の1世帯当たり1か月間の収入と支出

(二人以上の世帯、二人以上の世帯のうち勤労者世帯)

平成30年(2018年)平均

(単位:円)

二人以上の世帯の支出			うち勤労者世帯の収入と支出		
用途分類	鳥取市	全国	用途分類	鳥取市	全国
集計世帯数(人)	94	7,638	集計世帯数(人)	54	3,979
世帯人員(人)	3.30	2.98	世帯人員(人)	3.56	3.32
有業人員(人)	1.54	1.35	有業人員(人)	1.92	1.78
世帯主の年齢(歳)	57.9	59.3	世帯主の年齢(歳)	49.1	49.6
実収入	-	-	実収入	542,066	558,718
勤め先収入	-	-	勤め先収入	483,319	512,604
世帯主収入	-	-	世帯主収入	337,864	426,035
世帯主の配偶者の収入	-	-	世帯主の配偶者の収入	125,507	72,948
他の世帯員収入	-	-	他の世帯員収入	19,948	13,621
その他の収入	-	-	その他の収入	58,747	46,114
実収入以外の受取 (預貯金引出、借入金など)	-	-	実収入以外の受取 (預貯金引出、借入金など)	363,493	420,330
繰入金	-	-	繰入金	54,964	67,318
実支出	-	-	実支出	376,272	418,907
消費支出	266,955	287,315	消費支出	281,122	315,314
食料	71,015	73,977	食料	72,957	76,090
住居	14,672	16,915	住居	11,347	18,200
光熱・水道	22,577	22,019	光熱・水道	22,057	21,771
家具・家事用品	11,070	10,839	家具・家事用品	11,915	11,338
被服及び履物	9,470	10,791	被服及び履物	10,406	13,072
保健医療	10,699	13,227	保健医療	9,855	11,973
交通・通信	36,332	42,107	交通・通信	43,656	51,508
教育	8,218	11,785	教育	11,992	19,131
教養娯楽	24,500	27,581	教養娯楽	23,055	29,838
その他の消費支出(理美容関係、交際費など)	58,403	58,074	その他の消費支出(理美容関係、交際費など)	63,881	62,394
非消費支出 (税金、社会保険料など)	-	-	非消費支出 (税金、社会保険料など)	95,150	103,593
実支出以外の支払 (預貯金、借金返済など)	-	-	実支出以外の支払 (預貯金、借金返済など)	537,115	571,542
繰越金	-	-	繰越金	47,135	55,917
可処分所得	-	-	可処分所得	446,916	455,125
黒字	-	-	黒字	165,794	139,811
エンゲル係数(%)	26.6	25.7	エンゲル係数(%)	26.0	24.1

注 1 「二人以上の世帯」には、自営業者、無業者等を含むため収入にかかる項目の公表はない。

2 繰入金とは、前月から持ち越した手持ち金額で、繰越金とは、当月末における手持ち現金。

3 可処分所得とは、実収入から非消費支出を差し引いた額で、いわゆる手取り収入。

4 黒字とは、可処分所得から消費支出を差し引いた額。

5 エンゲル係数とは、消費支出に占める食料費の割合。

2 二人以上の世帯の消費支出に占める衣・食・住の割合の推移

「食料（エンゲル係数）」は26.6%となり、前年（26.5%）に比べ0.1ポイント増加した。

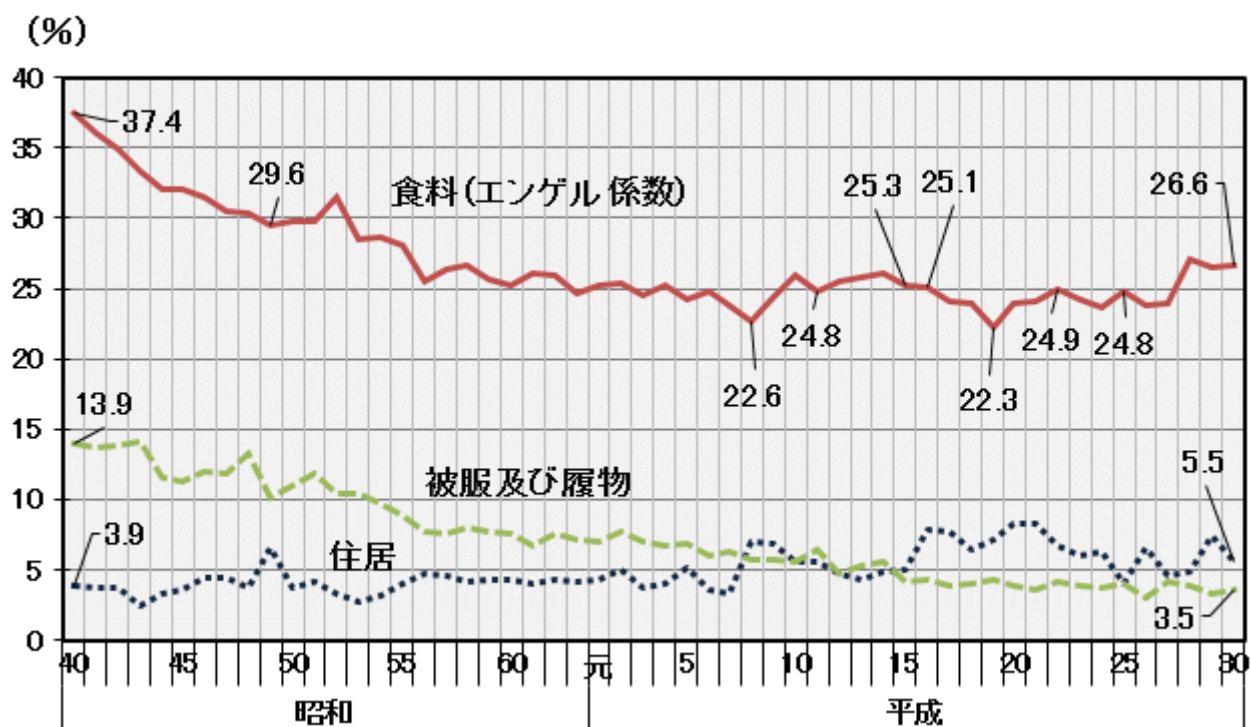
「被服及び履物」は3.5%となり、前年（3.3%）に比べ0.2ポイント増加した。

「住居」は5.5%となり、前年（7.4%）に比べ1.9ポイント減少した。

消費支出に占める衣・食・住の割合をみると、「食料（エンゲル係数）」は昭和40年には37.4%と食費に対する割合が高かったが、生活水準の向上と共に低下が続き、昭和49年には29.6%と初めて30%を下回った。しばらく低下傾向が続き平成8年では22.6%となったが、平成9年から再び上昇、25%付近を推移した。平成17年からは25%以下で推移していたが、平成28年から再び上昇、平成30年は26.6%で前年（26.5%）に比べ0.1ポイント増加した。

また、昭和40年には「被服及び履物」への支出が「住居」への支出を上回っていたが、平成15年以降は逆転した。平成30年における「被服及び履物」への支出は3.5%で前年（3.3%）に比べ0.2ポイント増加、「住居」への支出は5.5%で前年（7.4%）に比べ1.9ポイント減少した。（※「住居」とは、家賃地代、設備修繕・維持を含む）

図3 鳥取市の消費支出に占める衣・食・住の割合の推移（二人以上の世帯）



3 鳥取市の直近3年間の平均（平成28年（2016年）～平成30年（2018年）平均）から見た二人以上の世帯における全国消費ランキング

鳥取市の全国消費ランキング1位は、「即席麺（カップ麺は除く）」、「いわし」、「かれい」、「かに」、「ちくわ」、「合いびき肉」、「卵」、「もやし」、「梨」、「マヨネーズ・マヨネーズ風調味料」、「カレールウ」、「スナック菓子」、「チョコレート菓子」となった。

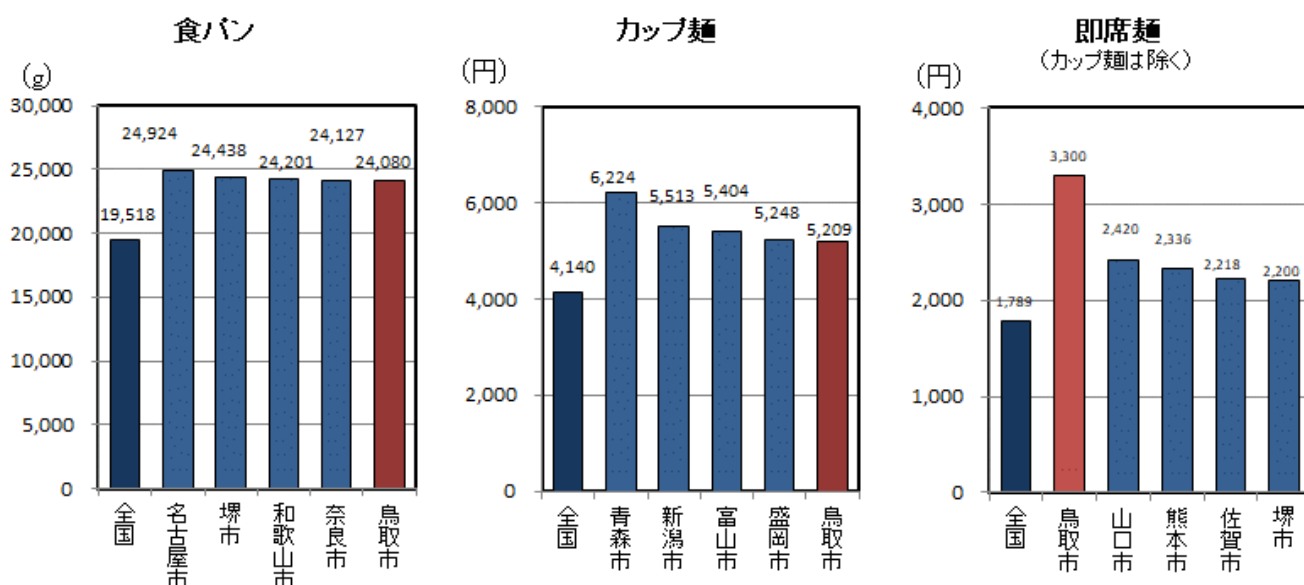
家計調査では、調査世帯が購入した商品をすべて集計することにより、消費者の嗜好、どのような食品がよく購入されているのかが分かります。

ここでは、食料品などについて、鳥取市の1世帯当たり年間購入量又は購入金額が全国の47都道府県庁所在市及び5政令指定都市（川崎市、相模原市、浜松市、堺市、北九州市）で上位5位以内の品目を取り上げました。

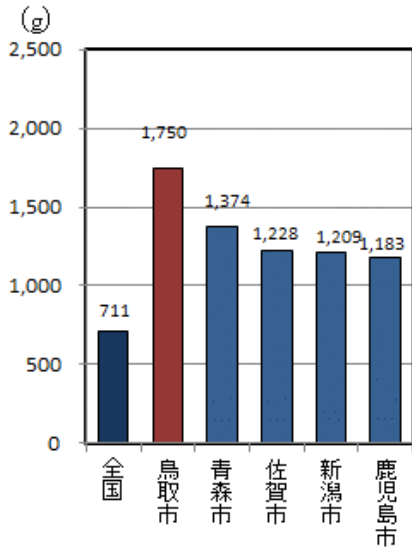
前回から順位を上げて全国1位になったのは「合いびき肉」（前回5位）、「もやし」（前回2位）、「チョコレート菓子」（前回8位）となり、今回新たに上位5位以内に入ったのは「食パン」（前回6位→今回5位）、「カップ麺」（前回8位→今回5位）、「ソーセージ」（前回8位→5位）となります。

また、前回の全国1位から順位が下がったのは「はくさい漬」（今回2位）となり、前回の上位5位内から今回外れたのは「粉ミルク」（前回2位→今回8位）、「発泡酒・ビール風アルコール飲料」（前回3位→今回7位）となります。

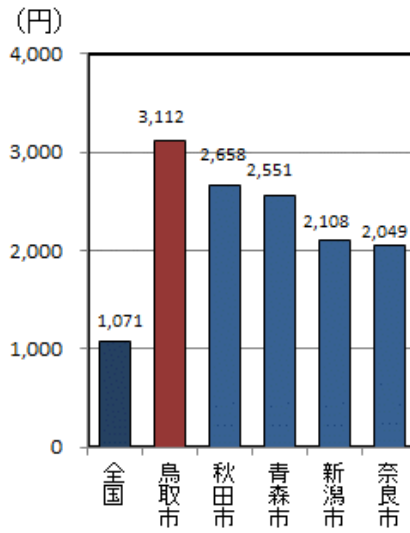
図4 鳥取市の全国消費ランキング上位5位
（平成28年（2016年）～平成30年（2018年）平均）（二人以上の世帯）



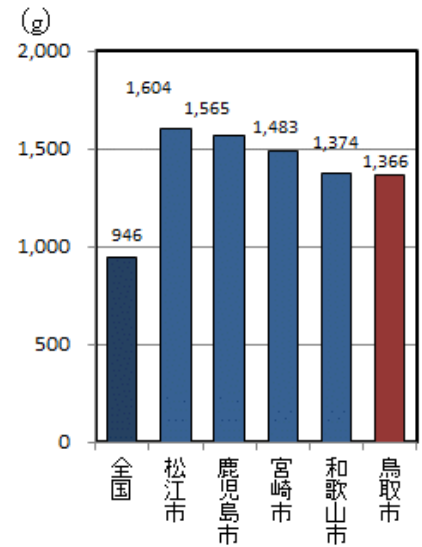
いわし



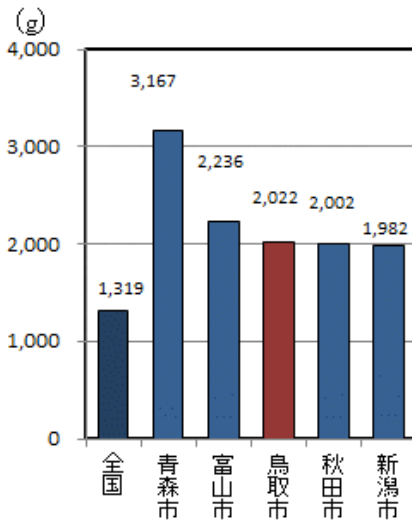
かれい



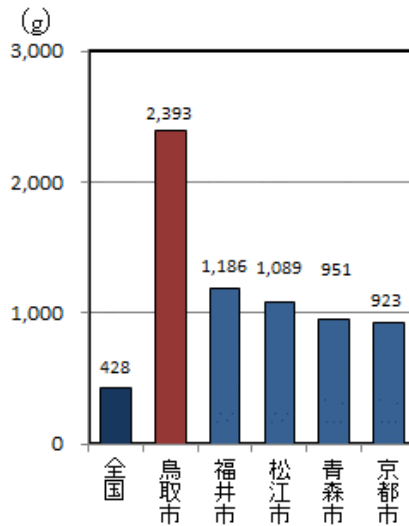
さば



いか

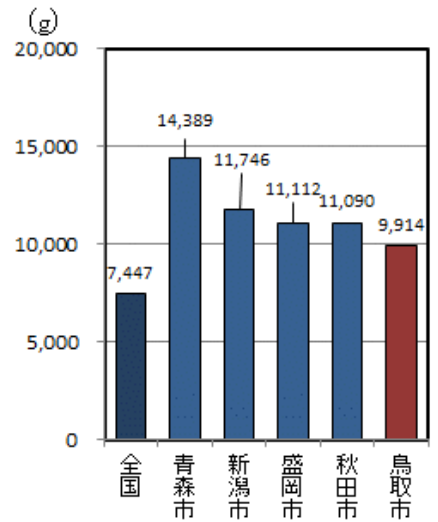


かに



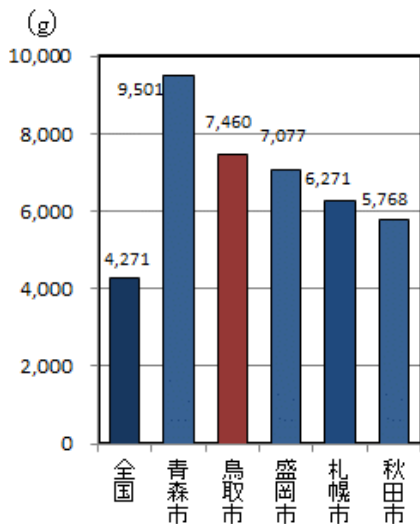
塩干魚介

(塩さけ・めんたいこ・しらす干し・干しあじ等)

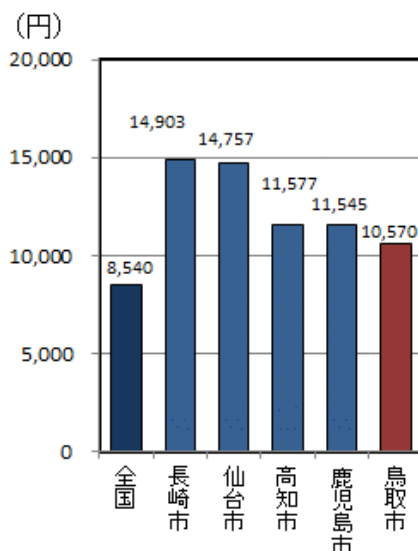


他の塩干魚介

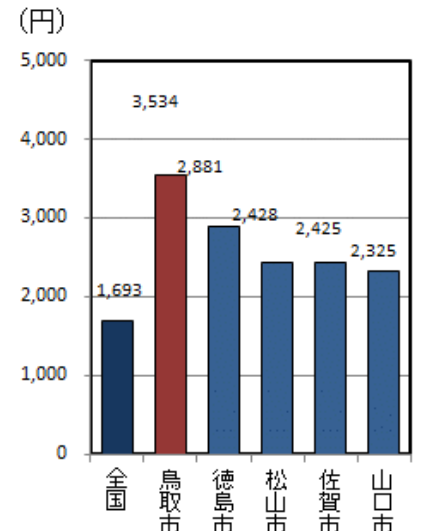
(干しかれい・みりん干し・ししゃも等)



魚肉練製品

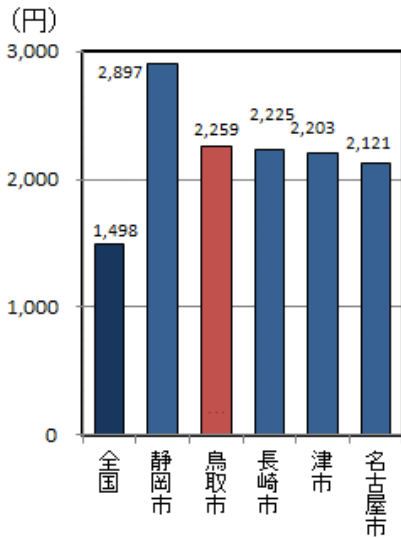


ちくわ

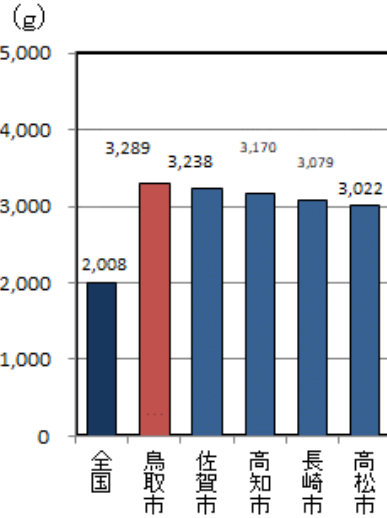


他の魚肉練製品

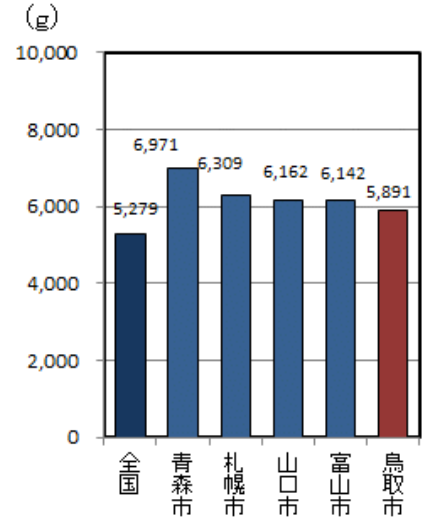
(とうふちくわ・魚肉ソーセージ等)



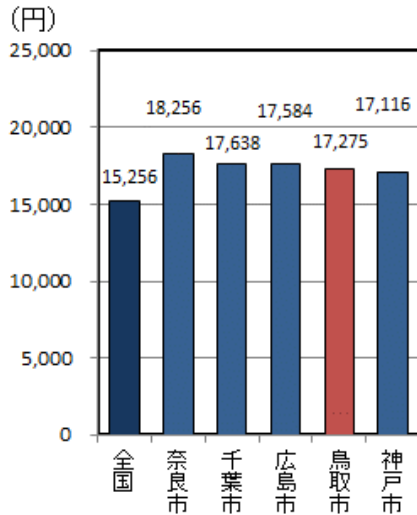
合いびき肉



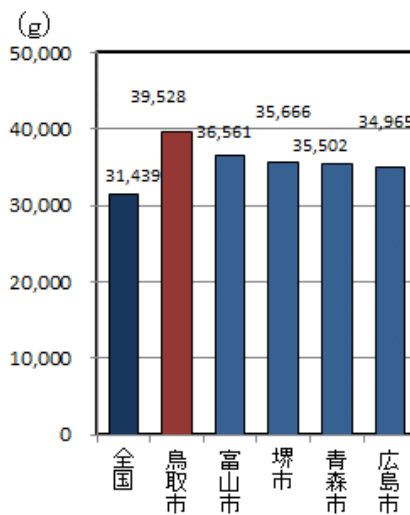
ソーセージ



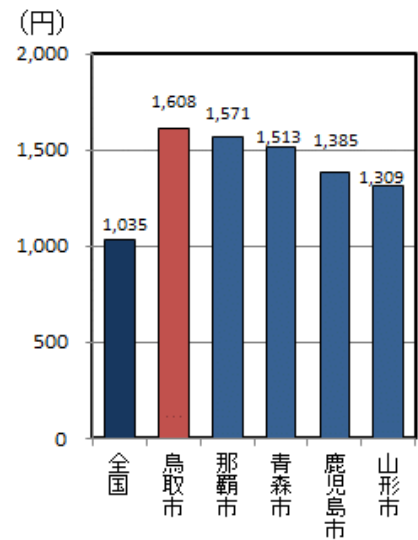
牛乳



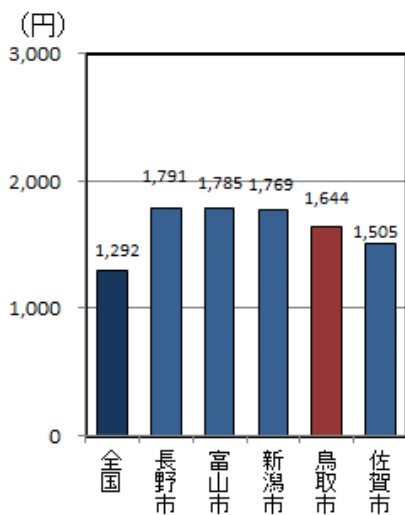
卵



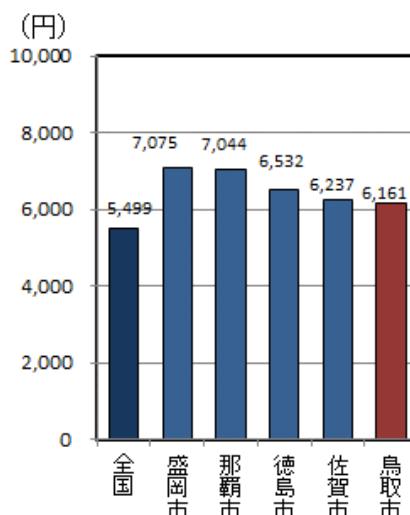
もやし



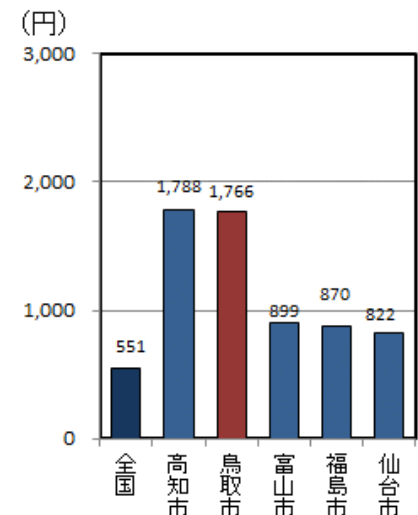
えのきたけ



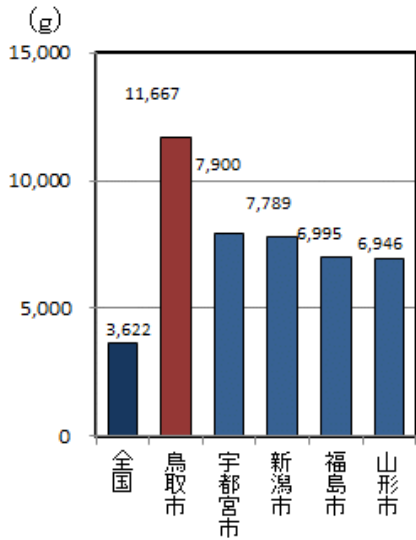
豆腐



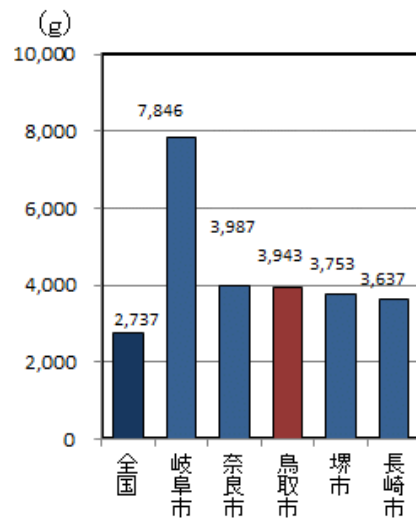
はくさい漬



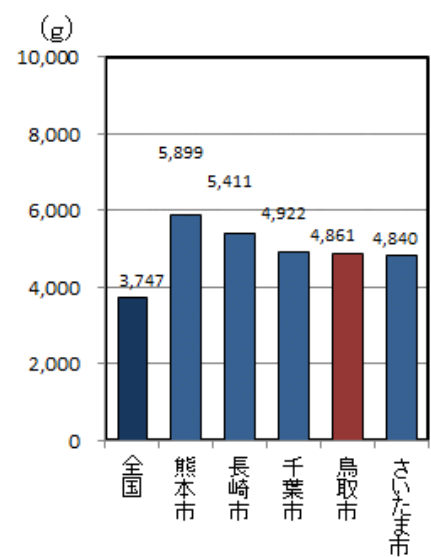
梨



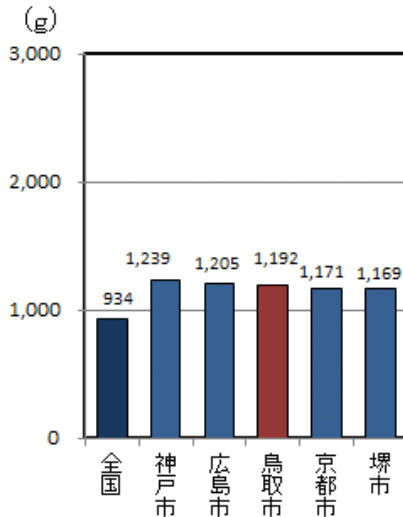
柿



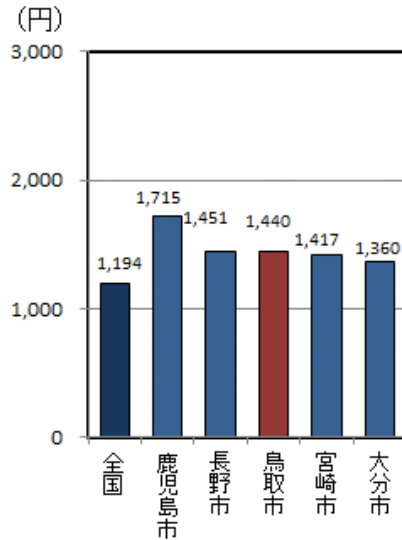
りんご



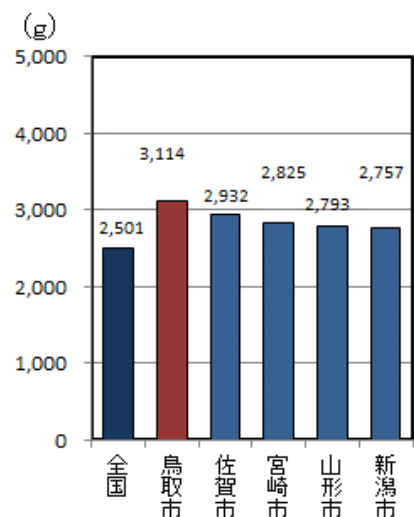
マーガリン



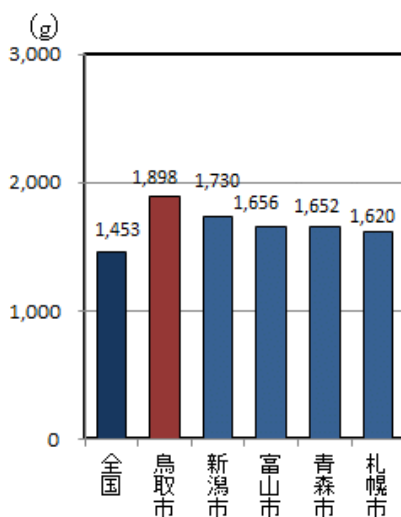
砂糖



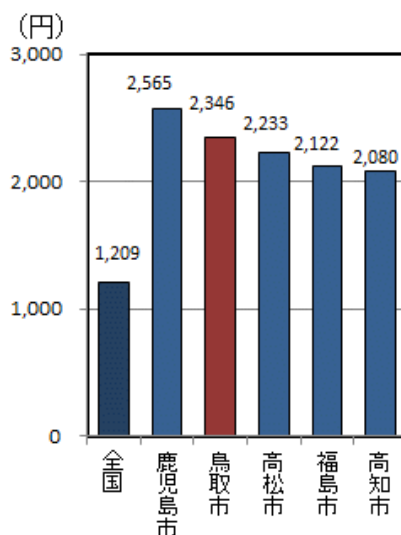
マヨネーズ・マヨネーズ風調味料



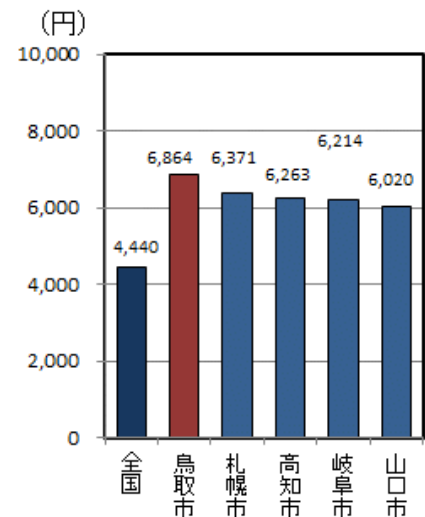
カレーウ



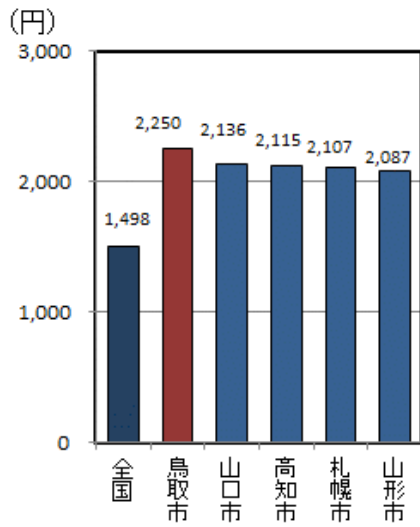
まんじゅう



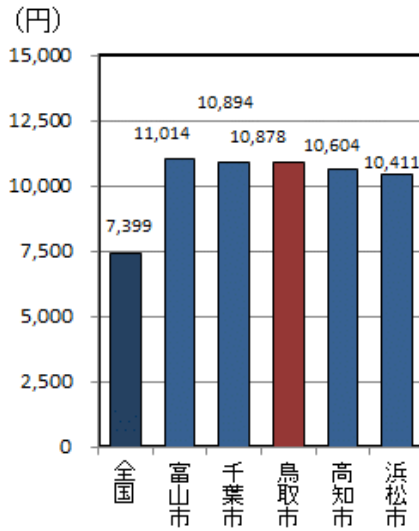
スナック菓子



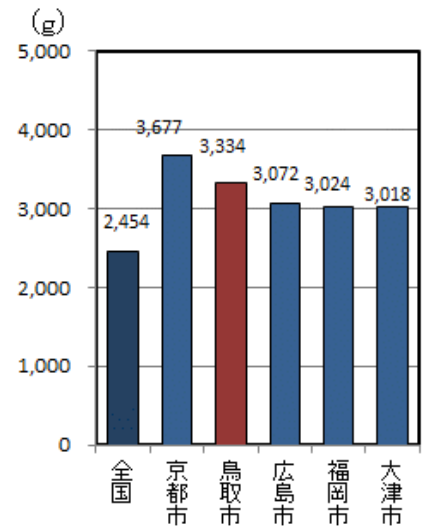
チョコレート菓子



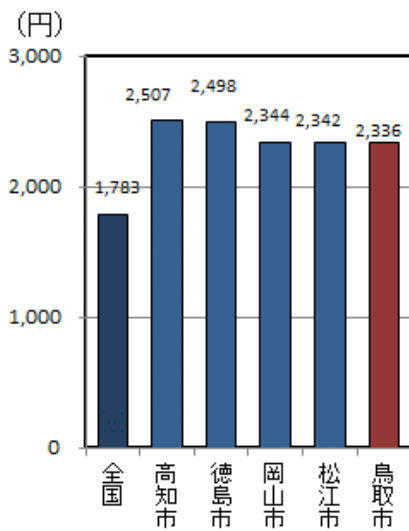
冷凍調理食品



コーヒー (豆・インスタントコーヒー)



乳飲料



【問い合わせ先】

鳥取県地域振興部統計課 生活統計担当

電 話 : 0 8 5 7 - 2 6 - 7 1 0 6

ファクシミリ : 0 8 5 7 - 2 3 - 5 0 3 3

電子メール : toukei@pref.tottori.lg.jp

URL : <https://www.pref.tottori.lg.jp/fies/kakei/>